

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
■ I 期選抜: 2/2(火)~3(水)	1/19(火)~22(金)	3/14(月)	I 期選抜 5段階×9教科×3年分=135点
■ II 期選抜: 3/8(火)~9(水)	2/15(月)~18(木)		II 期選抜 5段階×主要5教科+5段階×実技4教科×2 ×3年=195点 ただし、高校によって計算方法が変わるので注意

教育のプロ
トライさん



傾向

I 期選抜とII 期選抜の2回の受験機会がある。定員に満たなかった学校のみ、III 期選抜を実施する。

I 期選抜: 定員は、募集定員の1~4割。面接・調査書・志望理由書・小論文や実技などで合否を判定する。

II 期選抜: 調査書と学力検査に合わせて、学校によっては面接を実施する。

全体的に、市内中心部の学力が徐々に上昇傾向にあり、市内中堅高校の倍率は高く、今後も高く推移することが予想される。

倍率は人気校になると約3倍と狭き門のため、二期選抜で合格できる確かな学力を身に付けることが大切である。

また、ここ数年は私立専願であっても、必ずしも合格できるわけではないので油断しないこと。

科目別対策

英 語

大問5題で構成されており、配点の高いリスニングと長文読解でいかに点数を取れるかがポイントである。配点の低い英作文より、リスニング・長文読解に重きを置こう。長文は文章量が多いので、速く正確に読む必要がある。普段の学習から意味を正確にとらえて読むことを心掛けましょう。また、時間を計りながら過去問を解き、時間配分の練習をしましょう。

数 学

大問7題で構成されており、小問集合の大問1と2で、配点が50点中の22点あるので、まずは全範囲の基本的な内容をおさえることが大切。計算演習を繰り返しましょう。方程式の文章題、証明、関数を重点的に学習し、できるかぎり得点できるようにしておこう。過去の模試を解き直し、解説をよく読むことで、あらゆる解き方に慣れ、応用問題の対策をしましょう。

国 語

大問6題で構成されています。配点の高い小説、論説文は、しっかり対策しておこう。特に漢字・作文で満点を取ること。また、比較的読みやすい古文は高得点を狙えます。基礎的な問題から古文に慣れるようにしましょう。作文に関しては、内容よりも書き方のルールや誤字脱字が採点基準になるので、何度も添削の練習を繰り返して書く練習を積み重ねましょう。

理 科

大問9題で構成されています。問題の難易度は高くありませんが、広い範囲から出題されるので、苦手な分野をつくらないようにしましょう。用語の暗記はもちろん、観察や実験の問題が出題されるため、その流れを理解し、繰り返し問題を解いていく必要があります。授業でとったノートをもう一度見直し、実験のまとめノートを作り直してみましょ。

社 会

大問6題で構成されています。地理、歴史、公民の配点比率はほぼ同じです。昨年万遍なく出題されている歴史では、今年も幅広い範囲から出題されることが予想されます。教科書の基礎内容はもちろん、資料やグラフにもしっかりと目を通しておきましょう。記述問題も毎年8問ほど出題されています。普段から重要事項を短くまとめる練習を行い、記述問題の対策をしましょう。